



留学生スタディ京都ネットワーク
2023年度 留学生対象インターンシッププログラム

成果報告会

2023年11月11日(土)10:00~13:00

1. 留学生対象インターンシップ事業の概要について



(1) 事業目的

- ・京都地域在住留学生に、京都地域の企業(特に中小企業)・団体において就業体験の機会を提供することにより、その事業内容や日本における企業・組織文化に対する留学生の理解を促進し、就職意欲の醸成を図る。
- ・留学生と企業・団体との相互理解による、卒業後の京都における採用促進、及び就職後の定着を目指す。

(2) 事業概要

[対象学生]

留学生スタディ京都ネットワーク加盟学校の在籍者で、原則2025年3月に在籍校を卒業・修了する予定の者。
(2024年3月・9月卒業・修了の希望者も除外しない)

※専修学校在籍者、母国等で高等教育機関を卒業・修了した日本語学校在籍者を含む。

[対象企業・団体] 留学生を有給または無給インターンシップ生として受け入れる京都地域の企業・団体

[実施内容] 2023年8月14日～9月25日にかけて、有給もしくは無給インターンシップを実施

※参加留学生に対しては、事前の選考・マッチング・事前事後指導を実施。

(3) 目標と実績

[目標] 留学生:インターンシップ実習参加(修了)留学生 40名

企業・団体:実習受入 40企業・団体

[実績] 留学生:インターンシップマッチング22名(延べ27名)、修了21名(延べ25名)

企業・団体:インターンシップマッチング16企業・団体、修了14企業・団体

2. 参加留学生および受入企業・団体について



2-(1) 留学生データ

留学生数	2023	2022	2021	2020	2019
①総申込数	128名	109名	112名	71名	164名
②ガイダンス参加者数	49名	35名	62名	動画公開	102名
③交流会参加者数	45名	47名	43名	40名	77名
④正式エントリー者数	42名	38名	46名	42名	95名
⑤インターンシップマッチング者数 ※()内は延べ数	22名 (27名)	23名	27名	6名	29名
⑥プログラム修了者数 ※()内は延べ数	21名 (25名)	21名	26名	6名	27名

2. 参加留学生および受入企業・団体について



出身国・地域	申込	エントリー	修了
中国	80	25	11
韓国	13	6	3
台湾	10	2	1
香港	3	0	0
ベトナム	3	1	1
インドネシア	3	1	1
フィリピン	2	0	0
ドイツ	2	1	1
アメリカ	2	2	2
ミャンマー	1	0	0
タイ	1	0	0
マレーシア	1	1	1
シンガポール	1	0	0
イラン	1	0	0
ロシア	1	1	0
メキシコ	1	0	0
コロンビア	1	0	0
ベルギー	1	1	0
アイルランド	1	1	0
合計	128	42	21

所属校	申込	エントリー	修了
京都大学	34	11	8
京都情報大学院大学	18	8	2
同志社大学	15	7	7
龍谷大学	14	3	0
立命館大学	11	2	1
京都産業大学	8	1	0
ISI日本語学校	7	0	0
京都外国語大学	5	3	0
同志社女子大学	3	2	1
京都芸術大学	3	1	0
京都精華大学	2	1	1
京都文教大学	2	1	1
京都光華女子大学	1	0	0
京都先端科学大学	1	0	0
池坊短期大学	1	0	0
京都文化日本語学校	1	0	0
J-ILA日本国際語学アカデミー	1	1	0
KICL	1	1	0
合計	128	42	21

2. 参加留学生および受入企業・団体について

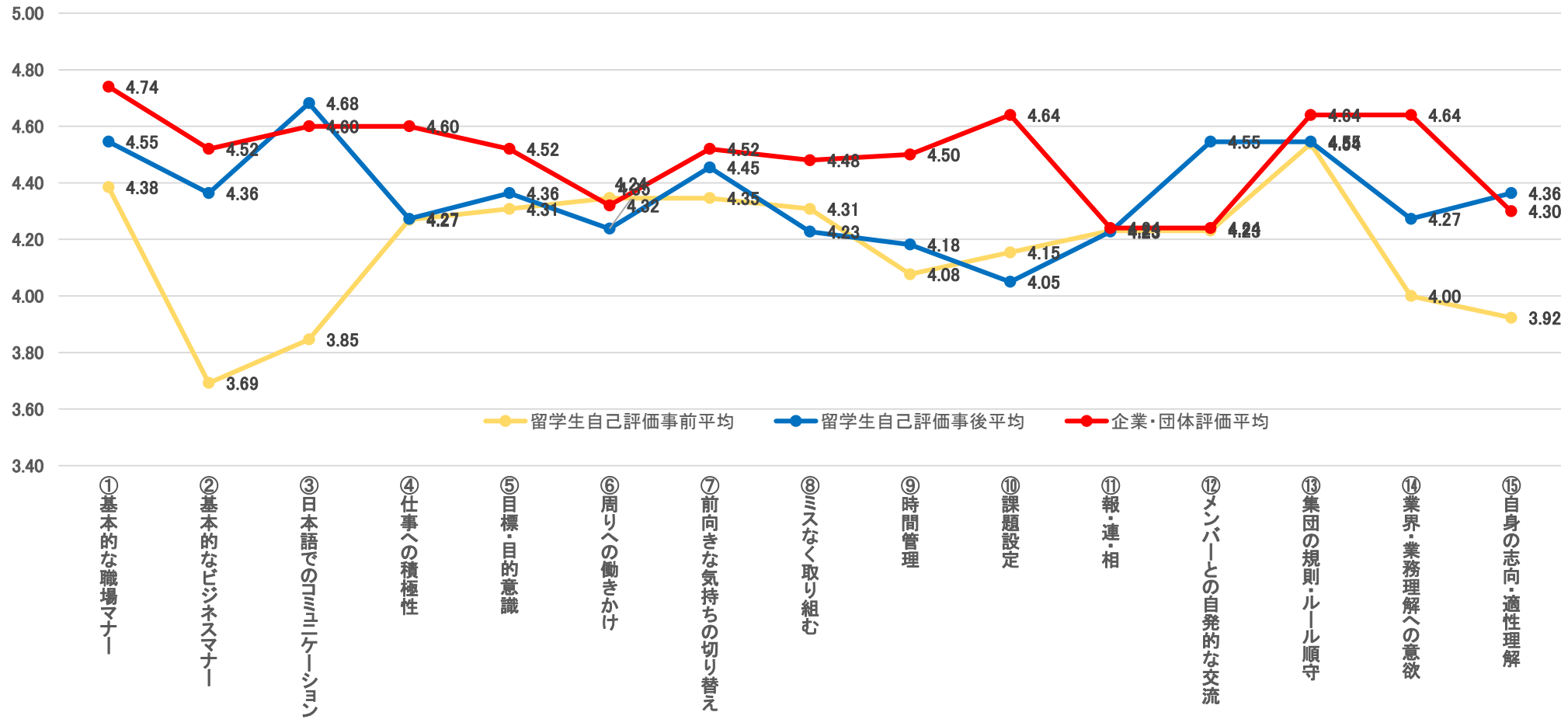


卒業年次	申込	エントリー	修了
2024年3月	31	9	5
2024年9月	10	4	1
2025年3月	58	23	13
2025年9月	1	1	1
2026年3月	9	1	0
その他	19	4	1
合計	128	42	21

日本語レベル	申込	エントリー	修了
N1レベル	77	25	13
N2レベル	37	12	6
N3レベル	8	3	1
その他	6	2	1
合計	128	42	21

専門分野別	申込	エントリー	修了
文系 (人文社会・芸術)	100	32	18
理系 (理・数・工・化・医薬・情報)	28	10	3

3. インターンシップによる留学生の変化と企業・団体からの評価の比較

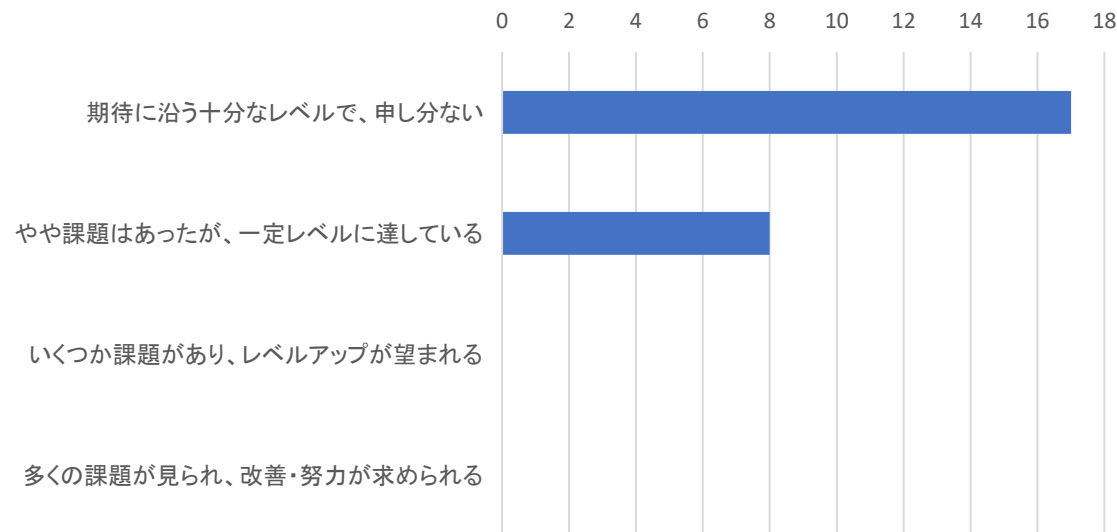


- ・留学生は、ほぼすべての項目でインターンシップ後に自己評価がアップしていますが、「⑥周りへの働きかけ」「⑧ミスなく取り組む」「⑩課題設定」は自己評価がダウンしている。
- ・企業・団体からは、多くの項目で留学生の自己評価よりも高く評価されているものの、「③日本語でのコミュニケーション」「⑫メンバーとの自発的な交流」「⑮自身の志向・適性理解」という項目が、留学生のインターンシップ後自己評価よりも低くなっている。

4. 総合的な留学生評価について



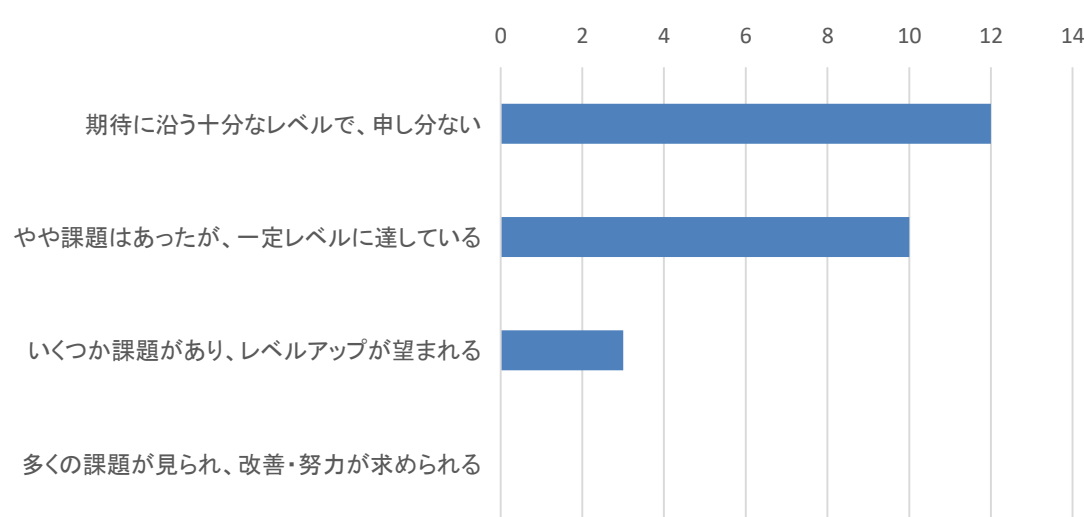
■意欲・態度(目的意識や挨拶・マナー等行動面)



(留学生が評価された点)

- ・指摘やアドバイスに対して、すぐに反応し、次にどうしたら良いかを考えられている点が評価できる。
- ・インターンシップで経験出来ることを、自分のキャリアに活かしていこうという意欲が感じられた。
- ・知らないこと、初めてのことに一生懸命取り組んでいる姿が好印象だった。
- ・短い時間にも関わらず、スピーディーなアイデア出しが出来ていた。
- ・業務の指示に従うだけでなく、積極的に自ら情報収集できていた。
- ・周りの人と積極的にコミュニケーションを取っていた。
- ・積極的に質問してくれて、相互理解が深まった。

■能力・スキル(説明・指示の理解、成果等能力面)



(もっと成長できると思われる点)

- ・当初、一人で考え込んでしまうところが見受けられた。
- ・就業中の居眠りなど、意欲・態度面で改善が必要な部分があった。
- ・相手からのコミュニケーションを待ってしまう「待ちの姿勢」が見受けられた。
- ・技術、知識面での不足があった。
- ・意味が正確に伝わっているか、不安になることがあった。
- ・日本で社会人として働くにあたっては、マナーの面で理解が必要と思われる点があった。